

平成 20 年 3 月期 第 3 四半期 (9 ヶ月通算) 財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 24 日

上場会社名 日本鑄造株式会社 上場取引所 東証二部
 コード番号 5609 URL <http://www.nipponchuzo.co.jp>
 代表者 代表取締役社長 菅昌 徹朗
 問合せ先責任者 財務部長 阿部 俊彦 TEL (044) 322 - 3751

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期 (9 ヶ月通算) の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(% 表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 3 四半期	16,059	9.1	1,704	11.4	1,630	11.9	840	2.5
19 年 3 月期第 3 四半期	14,718	11.0	1,529	52.3	1,457	62.5	861	154.9
19 年 3 月期	20,040		2,150		2,035		1,177	

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 3 月期第 3 四半期	19	98		
19 年 3 月期第 3 四半期	20	49		
19 年 3 月期	28	01		

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20 年 3 月期第 3 四半期	24,790		7,709		30.9	182	06	
19 年 3 月期第 3 四半期								
19 年 3 月期	22,489		6,898		30.4	162	55	

(注) 当第 3 四半期より連結財政状態の変動状況を開示しており、前第 3 四半期につきましては記載しておりません。

2. 配当の状況

	1 株当たり配当金
(基準日)	第 3 四半期末
19 年 3 月期第 3 四半期 20 年 3 月期第 3 四半期	円 銭

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。〕

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

[参 考]

平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) の連結業績見通し (平成 19 年 10 月 24 日発表) については、現時点では見直しを行っておりません。その他関連する事項については、添付資料 3 ページの【定性的情報】を参照して下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期における当社グループを取りまく経済環境は、日本経済の減速感が高まる中、設備投資は底堅さを維持しているものの、サブプライム、原材料高、住宅着工減、円高懸念等の懸案事項があり、景況感は悪化しつつあります。

こうした環境下にあつて、素形材分野では旺盛な需要を背景に好調を維持し、半導体向け機能材の原料となるニッケル価格の乱高下があつたものの、サーチャージ制により、販売価格に一部転嫁することができ、ほぼ前年並みの業績を維持することができました。

エンジニアリング分野に関しましても、引き続き低迷する市場環境の中、懸命な営業活動により受注は前年並みを維持し、売上高は鋼構造品を中心として増収となりました。

その結果、当第 3 四半期決算(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)における連結売上高は 16,059 百万円と、前年同期比 9.1%の増収となり、経常利益では 1,630 百万円と前年同期比 11.9%の増益となりました。しかしながら、特別利益として固定資産売却益 9 百万円を計上したものの、特別損失として固定資産廃売却損 85 百万円及び貸倒引当金繰入額 126 百万円を計上した結果、四半期純利益は 840 百万円と前年同期比 2.5%の減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

・資産、負債及び純資産の状況

総資産は、売上債権の増加、棚卸資産の増加等により平成 19 年 3 月末に比べ 2,300 百万円増加し 24,790 百万円となりました。

負債は、運転資金の増加に伴う借入金の増加があり 17,080 百万円、また純資産は 7,709 百万円となり、自己資本比率は 30.9%となりました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・法人税等の計上基準については、法定実効税率を用いた簡便法によっております。
- ・固定資産の減価償却の方法については、年度見込み額のうち当第 3 四半期分(9ヶ月通算)を計上しております。
- ・その他影響額が僅少な項目について、一部簡便的な処理を用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計期間より、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

4 .(要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期末 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期末	(参考) 前期末 (平成 19 年 3 月期末)
	金 額	金 額
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	385	393
受取手形及び売掛金	8,483	6,674
たな卸資産	3,533	3,239
その他	303	347
流動資産合計	12,705	10,656
固定資産		
有形固定資産	10,420	10,691
無形固定資産	28	29
投資その他の資産	1,635	1,112
固定資産合計	12,084	11,833
資産合計	24,790	22,489
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,475	4,771
短期借入金	4,132	3,746
その他	911	1,733
流動負債合計	10,519	10,251
固定負債		
長期借入金	2,717	1,519
その他	3,843	3,820
固定負債合計	6,561	5,339
負債合計	17,080	15,591
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	2,102	2,102
利益剰余金	1,509	700
自己株式	2	2
株主資本合計	3,609	2,801
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	46	66
土地再評価差額金	3,998	3,966
評価・換算差額等合計	4,044	4,033
少数株主持分	54	64
純資産合計	7,709	6,898
負債、純資産合計	24,790	22,489

(注) 当第 3 四半期より(要約)四半期連結貸借対照表を開示しており、前第 3 四半期につきましては記載しておりません。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期	(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
	金 額	金 額
売上高	16,059	20,040
売上原価	13,404	16,546
売上総利益	2,654	3,494
販売費及び一般管理費	950	1,344
営業利益	1,704	2,150
営業外収益	29	32
営業外費用	102	148
経常利益	1,630	2,035
特別利益	9	
特別損失	212	41
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	1,428	1,993
法人税等	596	814
少数株主利益	7	1
四半期(当期) 純利益	840	1,177

(注) 当第 3 四半期より(要約) 四半期連結損益計算書を開示しており、前第 3 四半期につきましては記載しておりません。

(参考) 売上高の補足説明

区 分 \ 期 別	平成 20 年 3 月期 第 3 四半期	平成 19 年 3 月期 第 3 四半期	前年同期比	平成 19 年 3 月期 通 期
	百万円	百万円	%	百万円
素 形 材	9,143	9,058	0.9	12,105
エンジニアリング	3,996	3,769	6.0	5,418
そ の 他	2,919	1,889	54.5	2,516
合 計	16,059	14,718	9.1	20,040